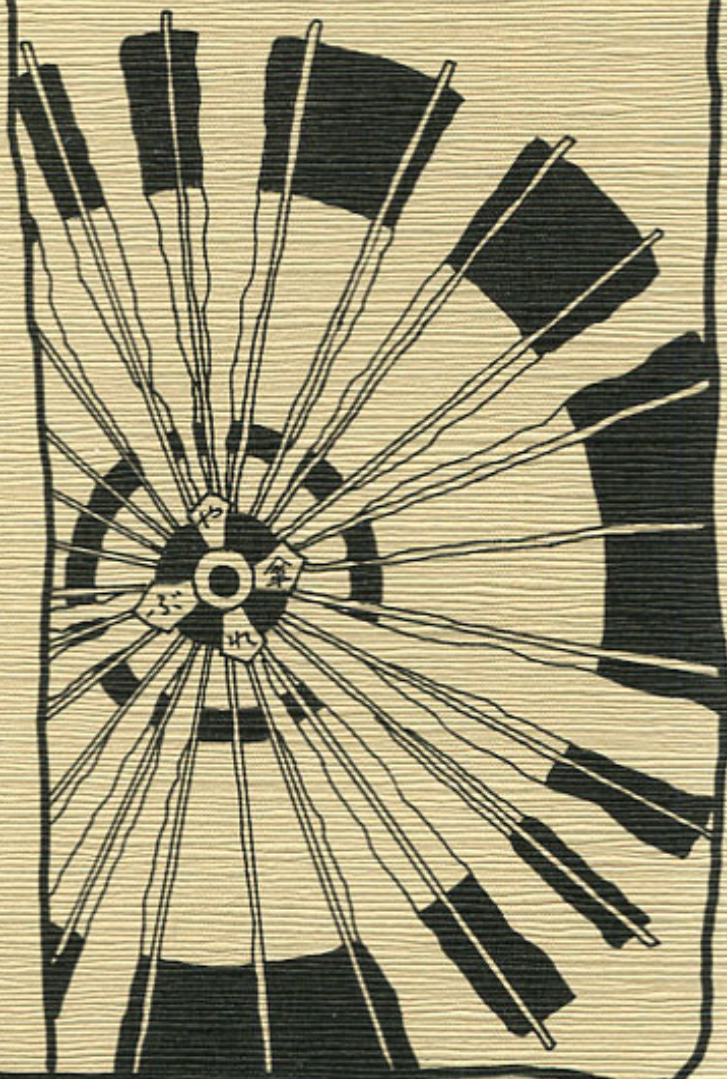


やぶれ傘

八十一号

二〇二四年十二月



石膏のトルソと烏瓜ひとつ	根橋宏次
マフラーをゆるゆるにして上野まで	大島英昭
見えてきしおでんの底にあるなにか	きくちきみえ
牡蠣フライ五粒とポテトサラダの夜	丑久保 勲
川沿ひの家の灯そろふ冬隣	白石正躬
鱸のこゑの近づいてくる初時雨	藤井美晴
マテバシイ茸を着けて伐られけり	瀬島酒望
木漏れ日を底に沈める冬の沼	廣瀬雅男
コート脱ぐサーカスの絵の美術館	安藤久美子
用水はここより暗渠柿紅葉	渡邊孝彦
冬の夜や弔事切手の色見本	小山陽子
雨戸打つほどの雨音小夜時雨	國保八江
欠礼のはがきの届く黄落期	久世孝雄
秋高しリレーアンカー一人抜く	有賀昌子
鳩群れて道とどこほる小春かな	松村光典

抄 集 句 傘 れ ぶ や
選 夫 紀 崎 大

十三夜川の水嵩増えしまま	齋藤朋子
対岸は耕作放棄赤のまま	眞田忠雄
コンバイン案山子に乗せて戻りけり	時田義勝
小春日や座布団並ぶ集会場	広瀬 済
ありがたく席ゆづらるる着ぶくれて	青谷小枝
秋耕の土塊ほぐす日暮かな	秋山信行
煎餅のザラメをこぼす冬隣	天野美登里
新米と太字でしるす店先に	安斉正蔵
うすら寒外科医の腰のコレセット	大野芳久
金木犀手水舎で待つ盲導犬	岡田香緒里
残る虫積みし小枝のあたりより	奥田温子
残る蠅薬剤室を飛び回る	神山市実
釣瓶落し米原駅で別れけり	上林富子
手作りのおはぎ必ず作りすぎ	菊池葉子
屋上の緑地の空を赤とんぼ	黒木東吾

小 六 月

大 崎 紀 夫

赤とんぼ並んでゐたる防波堤
屋根に陽のやはらかな日や小鳥来る
変電所をぐるり背高泡立草
亀の背の昼には乾く小六月
鶏頭のそばに電信柱かな

鮫鰯の肝まな板に置かれけり

冬の昼月香具師はバナナを裏返し

坂下の家で犬鳴く雪催

炭焼きの煙へ朝日とどきけり

猪狩りのもどりて来たるにほひかな

冬の虹うすく採石場に発破

尾根道に夕日そのときしぐれけり

烏 瓜

根橋宏次

新蕎麦に胡桃のたれとくればもう
海猫の帰りしあとの港かな
石膏のトルソと烏瓜ひとつ
初鴨やいつものやうに川へ来て
灯火親しめがね掛けたりはづしたり
左手の車窓に湾の海鼠舟
餡を添へ団子出さるる小春かな
箸立てて納豆こねてゐたりけり
畳屋を出てゆく畳花八つ手
綿虫のしばらく見えてゐたりけり

丸 太

大島英昭

櫓田のキャタピラ跡の水溜まり
鵲のこゑきれぎれ日差斜めより
荊線に山芋の葉の黄葉かな
きのこ付き輪切り丸太を椅子がはり
菊まつり会場鰻鮎屋が人気
草の絮吹いて鉄道線路沿ひ
暮早き日を遠出して海を見て
なにやらにぶら下がりとる檜落葉
赤松の丸太のほふ小六月
マフラーをゆるゆるにして上野まで

おでん

きくちきみえ

踏み切りの開きたる空や青みかん
コッペパン一切れ池へ秋暑し
鳩雀近くに鴉柿紅葉
日の匂ひ土の匂ひや落花生
もじやもじやのところありけり曼珠沙華
ちやんちゃんこ掛けて眠たき膝頭
石の音させて取り出す焼き芋屋
見えてきしおでんの底にあるなにか
ふろふきの箸で切らるる固さかな
野放しで兎飼ひたる山の宿

秋 晴 れ

丑久保 勲

クレヨンの巻き紙はがす夜長かな
諸蔓を燃やす煙に巻かれけり
鰻屋を出て秋晴れの県庁前
秋の蚊の居間と厨に生きてゐる
蟋蟀のこゑガス台の後ろより
末枯や片手で開く傘の音
校庭の白線に散り紅葉かな
一輛で過ぎし機関車野紺菊
秋の蝶庭にとぐろを巻くホース
牡蠣フライ五粒とポテトサラダの夜

冬 隣

白石正躬

菜虫とりずれる眼鏡をおし上げて
芋の葉の上に動かず赤城山
門柱をつないでをれり秋の蜘蛛
秋空をさらりと走る雲の来て
朝寒や二階の窓の明けの星
林間にこだまの走る秋入日
山祠の紅葉のかかへ埋もれて
古書市へ高崎線で秋の午後
高みより見下ろす黄葉鏝阿寺の
川沿ひの家の灯そろふ冬隣

初時雨

藤井美晴

池古りて秋海棠の咲きにけり
鵲猛りつぐ休日幼稚園
灯を消すと机上の林檎にほひだす
窓の外しぐれ牛蒡の鍋にほふ
木瓜の実のしなびて木瓜の帰り花
鱸のこゑの近づいてくる初時雨
初冬の夜の橋に聞く水のこゑ
手庇に見る土手下の葱畑
日のあたる郵便受けに冬の蠅
冬の灯や屋台に客の足見えて

柿の秋

瀬島洒望

海霧薄れたる岸壁に警備艇
リムジンの排気のにほふ夜寒かな
アパートの出口は引き戸ちちろ鳴く
ちゆうぶるのものを売る店草紅葉
着古せるシャツで窓拭く柿の秋
枳餅を売る店で実を見せらるる
長き夜の壁に掛りしバラライカ
車前草や事故車を運ぶトレーラー
武者窓の外に十月櫻かな
マテバシイ茸を着けて伐られけり

冬の沼

廣瀬雅男

颪風や昼を灯して本を読む
畑道の轍を辿る秋の蝶
寝ころびて秋のこゑ聞く山の宿
小鳥来る池のほとりに日の差して
草の穂や湖へと続く道細く
釣り舟も人も動かぬ冬の池
縁側に冬木の影の伸び来る
流れより暮れゆく川や枯芒
ストーブを背にし法事の経を聴く
木洩れ日を底に沈める冬の沼

◇1月・2月の句会案内

月	日	時	句会名	会場	連絡先
1月	6日(火)	AM9:00	こなから会	戸田市中央公民館	國保八江
	6日(火)	PM6:00	うらら会	浦和コミセン	瀬島孟
	7日(水)	PM7:00	ぎんなん会	浦和コミセン	丑久保 勲
	9日(金)	PM6:00	なごみ会	浦和コミセン	丑久保 勲
	17日(土)	PM2:00	セニョリータ句会	WEP俳句教室	藤井美晴
	24日(土)	AM10:00	楽天会	中央公民館	廣瀬雅男
	25日(日)	PM2:00	やぶれ傘句会	WEP俳句教室	WEP編集室
	30日(金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
2月	2日(月)	PM7:00	ぎんなん会	浦和コミセン	丑久保 勲
	3日(火)	AM9:00	こなから会	戸田市中央公民館	國保八江
	3日(火)	PM6:00	うらら会	浦和コミセン	瀬島孟
	6日(金)	AM10:00	NHK大崎教室	さいたまアリーナ	NHK文化センター
	6日(金)	PM6:00	なごみ会	浦和コミセン	丑久保 勲
	15日(日)	AM10:00	吟行会(下記注)	鎌倉・円覚寺	丑久保 勲
	21日(土)	PM2:00	セニョリータ句会	WEP俳句教室	藤井美晴
	22日(日)	PM2:00	やぶれ傘句会	WEP俳句教室	WEP編集室
	28日(土)	AM10:00	楽天会	中央公民館	廣瀬雅男

(注) ぎんなん会は奇数月は第1水曜、偶数月は第1月曜です。

1月のNHKは第5週の30日(金)です。

2月15日(日)の吟行。集合は10時。集合場所はJR横須賀線北鎌倉駅改札口。吟行地は円覚寺。句会場は大船駅より徒歩10分の「鎌倉生涯学習センター・玉縄学習センター」第2集会室。

◎ 連絡先 瀬島 孟 ☎048-862-2757 藤井美晴 ☎0422-55-2733
 大島英昭 ☎048-592-5041 WEP編集室 ☎03-5368-1870
 廣瀬雅男 ☎048-443-7522 浦和コミセン ☎048-887-6565
 丑久保 勲 ☎048-853-3856 WEP俳句教室 WEP編集室へ